

放課後等デイサービス 自己評価表 UNICO筑紫野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●		
	2	職員の配置数は適切であるか	●		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	●		段差が少ないつくりで、通路も十分な広さを確保し、バリアフリーを意識した施設設計になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	●		毎日の朝礼で、先日の振り返りをおこなっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●		スペシャルイベント後など、保護者様へのアンケートをおこない、その回答をもとに職員会議で振り返りをおこなっています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●	第三者機関からの評価を受ける代わりに、本社職員を事業所に派遣して評価を行う内部監査制度を年2回実施しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●		月に1回定期的な支援に関する研修を実施したり、新入社員、過去新卒に向けた研修を実施するなど、充実した教育体制を整えています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●		新型コロナウイルスの影響もあり、直接お会いしての面談は出来ていませんが、電話にて面談をおこない、計画作成をおこなっています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●		予約表作成時に子どもたちが興味あることを共有し、その中から職員でアイデアを出し合い、活動プログラムを作成しています。また、全てではないですが子どものしたい活動も聞き、活動プログラムに取り入れています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●		同じ曜日に同じ内容の活動が重ならないよう調整をおこなっています。子どもたちが体験したことがない内容のプログラムを月に1つは入れるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	●		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●		カリキュラムの担当が支援内容を共有し、職員間で役割分担をしながら支援をおこなっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●		翌日の朝礼時に職員でMTGを行い、振り返り・気付いた点の共有を実施しています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●		
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	●		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	●		学校へのお迎え時などで、情報の共有をおこなっています。また、トラブル発生時で学校との共有が必要な際は、学校で支援会議をおこなっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	UNICO内にこれまで該当する利用者はいないが、受け入れをする場合には、主治医等と連絡体制を整える等対応したいと考えています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		●	保育園等への直接聞き取りは過去行っていませんが、保護者・相談支援事業所を経由または姉妹教室の児童発達支援事業所からの情報提供等は常に行っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		●	昨年度は新型コロナウイルスの影響により、情報提供の場が設けられなかった為、担当の相談支援専門員さんに情報をお伝えしております。今後、障害福祉サービス事業所に移行するケースがある場合は対応いたします。

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●	活動目的で児童館を利用することはあり、その際現地の児童と意気投合すれば、共に活動を行うことはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●	積極的に参加したいのですが、時間の都合上、今年度は2回しか参加出来ていないです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●	連絡帳や電話等のやりとりで、子どもの発達状況を共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●	保護者様向けの研修プログラムはありませんが、送迎時やまた適宜電話にて保護者様と対話し、お子様の様子やどのような支援をしているかなどをお伝えするようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●	まだ十分とは言えないですが、個別に対応させていただいています。また、必要に応じて相談支援専門員や、学校の先生を交え支援会議を開いております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●	親子クッキング等で保護者様同士が触れ合える機会を作っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●	
	35	個人情報に十分注意しているか	●	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●	新型コロナウイルスが終息してから、行いたいと考えております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●	職員は事業所内にマニュアルをいつでも確認できるようにしておりますが、保護者様への周知は出来ておりません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●	年に2回避難訓練をおこない、避難経路の確認などをおこなっています。日々の連絡帳に避難訓練の実施時は、その旨を記載しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●	虐待防止のアンケートを取り、自身の支援方法や他職員の支援方法が適切であるかばどの振り返りの会議をおこなっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●	契約時に、防犯上の都合上、玄関のカギを閉めさせてもらっている旨をお伝えしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●	食物アレルギーではないが、てんかんの子の対応はおこなっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●	